

開会・あいさつ

全国環境保全型農業推進会議 会長
松本 聡

国民が農業、環境に関心を持つようになって、すでに十数年の月日が流れています。全国各地で環境保全型農業に取り組む農業者の数が力強く展開しているところです。そうした農家の方々に少しでもお役に立つように、この様なシンポジウムを定期的に行なっております。最近、環境保全型農業を進める上での大きな問題は、コスト的にかなり大きな負担がかかるということです。

そこで、本日のシンポジウムは昨年度環境保全型農業推進コンクールで農林水産大臣賞を受賞された 3 団体の方に、こうした課題にどのように取り組み、乗り越えてこられたのか、その先進的な事例を発表していただくことになりました。私どもは、この事例に学びつつ、環境保全型農業についての認識をさらに一層深めて、将来起こるであろう種々の問題にも対応できる、力強い、そうした体制を形成していく必要があるのではないか、こういうふうに思いまして、本日のシンポジウムを企画したわけでございます。限られた時間ではございますが、講演のほかにパネルディスカッションも行ないますのでどうぞフロアの方からもいろいろな意見を述べていただいて、有意義な時間を過ごしていただきたいと思っております。